

三菱電機伊丹製作所⑧

尼崎発…世界に音と名を轟かせた銘機 その5

銘機の生みの親 佐伯多門氏から

三菱電機エンジニアリングを通して、2S-205、2S-305の設計・開発の主任者の佐伯多門氏から、写真についてご回答をいただきました。以下、原文通り紹介します。

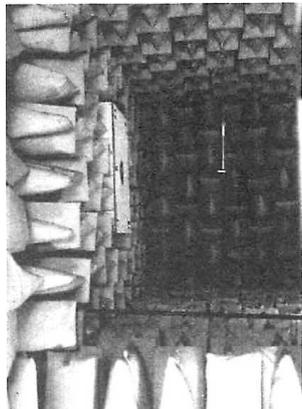


写真1

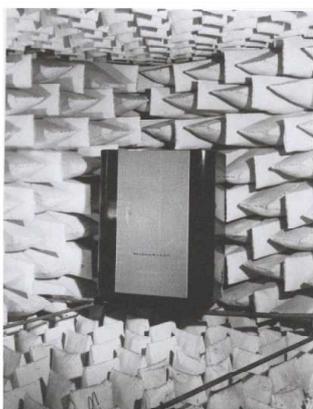
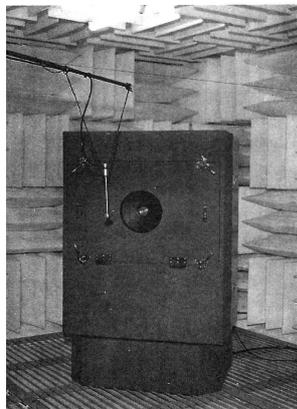
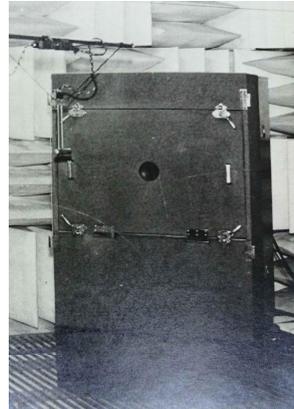


写真2



JIS指定の標準箱



①この無響室は伊丹地区にあった無線機製作所時代のものです。福島県郡山市の郡山製作所の無響室とは違います。大きい箱はJIS指定の標準箱です。

②写真1と2にあるのは1953年に最初に完成した無響室で、1956年頃に写した2S-205型です。(その後に改良されて2S-305型になります)

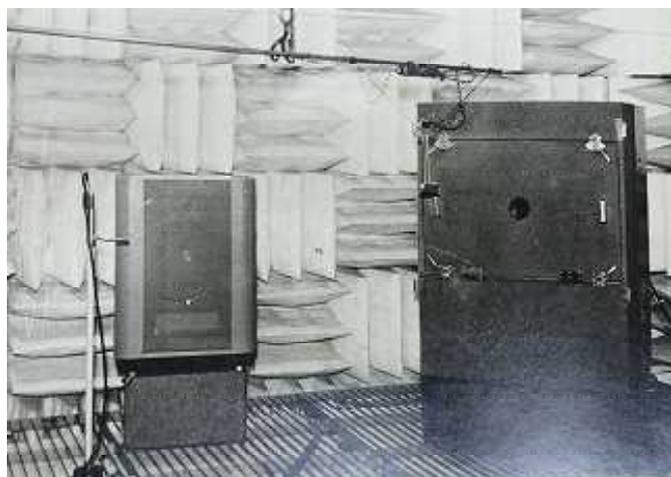
③資料にある写真のスピーカー⑤は、東京オリンピック後の1965年にNHK放送センターの新しい建設に伴いスタジオ設備として納入した業務用NHK専用の2S-305型です。このため三菱のバッジでは無く、V型のマークのバッジになっています。また、キャビネットの塗装はNHK指定のBTS-2号色に仕上げられています。福島県郡山市の郡山製作所で製作した2S-305型は、塗装仕上げがかわり、NHK納入品も桜化粧板の家具調仕上げになっています。(注文品は白ぼいモノなどいろいろな仕上げがあります)

④参考文献として下記をご一読下さい。

無線と実験誌2012年7月号、8月号

無線と実験誌2014年8月号から11月号

なお、佐伯氏からは、⑤について「この写真は誰が撮影したのか不明です。会社の記録にはありません」とありましたが、約50年前本校の職員が自前のカメラで撮影したものです。佐伯氏の回答や清家氏の助言および写真の撮影年代(200枚ある同年代の地域写真)等から勘案すると、このスピーカーは、「NHK仕様の改良型2S-305型」と結論づけられるようです。



⑤

1枚の写真を様々に探っていくと、思いがけずも最後は2S-305産みの親である佐伯氏のもとにたどり着きました。何事も地道にねばり強く…が肝心ですね。